

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科目名	柔道 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜日・4限	教室名	柔道場
担当教員	岩村 一成	実務経験と その関連資格	平成16年より接骨院勤務。平成19年に柔道整復師専科教員免許取得。 平成24年より大阪ハイテクノロジー専門学校で勤務。 柔道整復師・柔道整復師専科教員・講道館柔道五段・認定実技審査員(整復・柔道)			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>柔道の基本である礼法(立礼・座礼・座り方・立ち方)、姿勢(自然体・自護体・組み方)、歩き方、崩し、体捌き、受身(後受身・横受身・前受身・前回受身)を復習しつつ、それを踏まえて「投げの形」に対する理合を身をもって体得し、国家試験(柔道実技試験)合格を目標とする。柔道初段を目標にし、投技・寝技を実施していく。試合審判規定や投の形を修得していく。認定実技審査の形項目を実施する</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験：100 %</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>認定実技審査実施要綱</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>わからないことがあれば、放課後に実施しているゼミなどを活用してください 講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください。また、柔道の試合などを観戦するのも有用です。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ケガや事情により正座や柔道の動きに不安がある場合は相談してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の歴史、ルールについて理解する	PC、プロジェクター		図書館の利用やインターネット等により、講道館柔道のルールを確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	授業の進行内容の説明			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	礼法、受身を習得する	特に無し		図書館の利用やインターネット等により、講道館柔道の礼法を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	礼法、受身-1			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	礼法、受身を習得する	特に無し		図書館の利用やインターネット等により、講道館柔道の礼法を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	礼法、受身-2			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	受身の基礎、回転運動を習得する	特に無し		柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	受身の基礎、回転運動			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	後受身を習得する	特に無し		柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	後受身			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	後受身、横受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	後受身、横受身		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	後受身、横受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	後受身、横受身		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	横受身、前受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	横受身、前受身		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	前回受身		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	前回受身-1		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	前回受身-2		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	受身応用、様々な受身を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	受身応用、様々な受身		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1～12回までの復習	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	投技の基礎を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	投技の基礎		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1～14回までの全ての知識・技能を総復習し投げ・受けともに行えるようになる。	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめおよび総復習		